

平成20年2月15日

各位

会社名 アイホン株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 周作
(コード番号 6718 東証・名証第一部)
問合せ先 総務部長 和田 健
(TEL 052-682-6191)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11日12日の中間決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期連結業績予想の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	44,100	3,700	3,650	2,340	117.15
今回修正予想(B)	42,500	2,600	3,350	1,960	98.13
増減額(B-A)	1,600	1,100	300	380	-
増減率(%)	3.6%	29.7%	8.2%	16.2%	-
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	41,336	4,413	4,529	2,807	140.55

(金額の単位:百万円)

2. 平成20年3月期業績予想の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	41,150	3,000	2,940	1,750	87.61
今回修正予想(B)	39,400	2,630	2,630	1,450	72.59
増減額(B-A)	1,750	370	310	300	-
増減率(%)	4.3%	12.3%	10.5%	17.1%	-
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	38,564	3,489	3,515	1,978	99.05

(金額の単位:百万円)

3. 業績修正の理由

売上につきましては、海外市場においては海外向け製品の投入効果等により売上は順調に推移していますが、国内市場においては戸建住宅向けカラーテレビドアホン市場の競争が予想以上に厳しく、売上は予想を下回る見込みとなりました。

利益につきましては、日本国内の販売価格の低下に加え、タイパーツ高が影響し営業利益は予想を下回る見込みとなりました。

また、タイパーツの為替換算においては連結会計上で2種のレートを用いる関係上、営業利益に減額要因として、経常利益に増額要因として算入されております。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上